

# JAMA電子情報フォーラム2020

## 電子情報企画部会 活動概要

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会  
電子情報企画部会  
部会長：今田 毅

2020年2月13日

<b>1</b>	<b>自工会と電子情報委員会の紹介</b>
<b>2</b>	<b>自動車業界を取り巻く環境認識</b>
<b>3</b>	<b>電子情報委員会と電子情報企画部会の活動方針</b>
<b>4</b>	<b>ご案内</b>

# 1. 自工会と電子情報委員会の紹介

**設立：1967年 4月 3日**

**目的：本会は、我が国の自動車工業の健全な発達を図り、もって経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。**

- 事業：**
- (1) 自動車の生産、輸出及び市場に関する調査、研究並びに各種統計等関連資料の作成及び刊行
  - (2) 以下の事項に関する調査、研究及び提言
    - [1]自動車及び自動車産業に係る政府の施策に関すること
    - [2]自動車の基準認証並びに安全技術及び環境技術に関すること
    - [3]自動車及び自動車産業に係る環境保全に関すること
    - [4]交通安全の推進に関すること
    - [5]自動車の流通に関すること
    - [6]自動車の利用環境の改善に関すること
    - [7]自動車の貿易及び自動車産業の国際的なビジネス環境に関すること
    - [8]自動車の材料及び部品に関すること
    - [9]自動車及び自動車産業の電子情報に関すること
    - [10]自動車産業における人事労務、安全衛生、技能振興及び労使関係に関すること
    - [11]自動車産業における知的財産の保護に関すること
  - (3) モーターショー、各種行事の開催並びに関連出版物等の作成及び刊行
  - (4) 前各号に関する啓発、広報活動並びに自動車及び自動車産業に関する理解促進
  - (5) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業
  - (6) 前各号に掲げる事業は、国内又は海外において行うものとする

# 自工会会員企業（OEM14社）

いすゞ自動車株式会社

川崎重工業株式会社

スズキ株式会社

株式会社 S U B A R U

ダイハツ工業株式会社

トヨタ自動車株式会社

日産自動車株式会社

日野自動車株式会社

本田技研工業株式会社

マツダ株式会社

三菱自動車工業株式会社

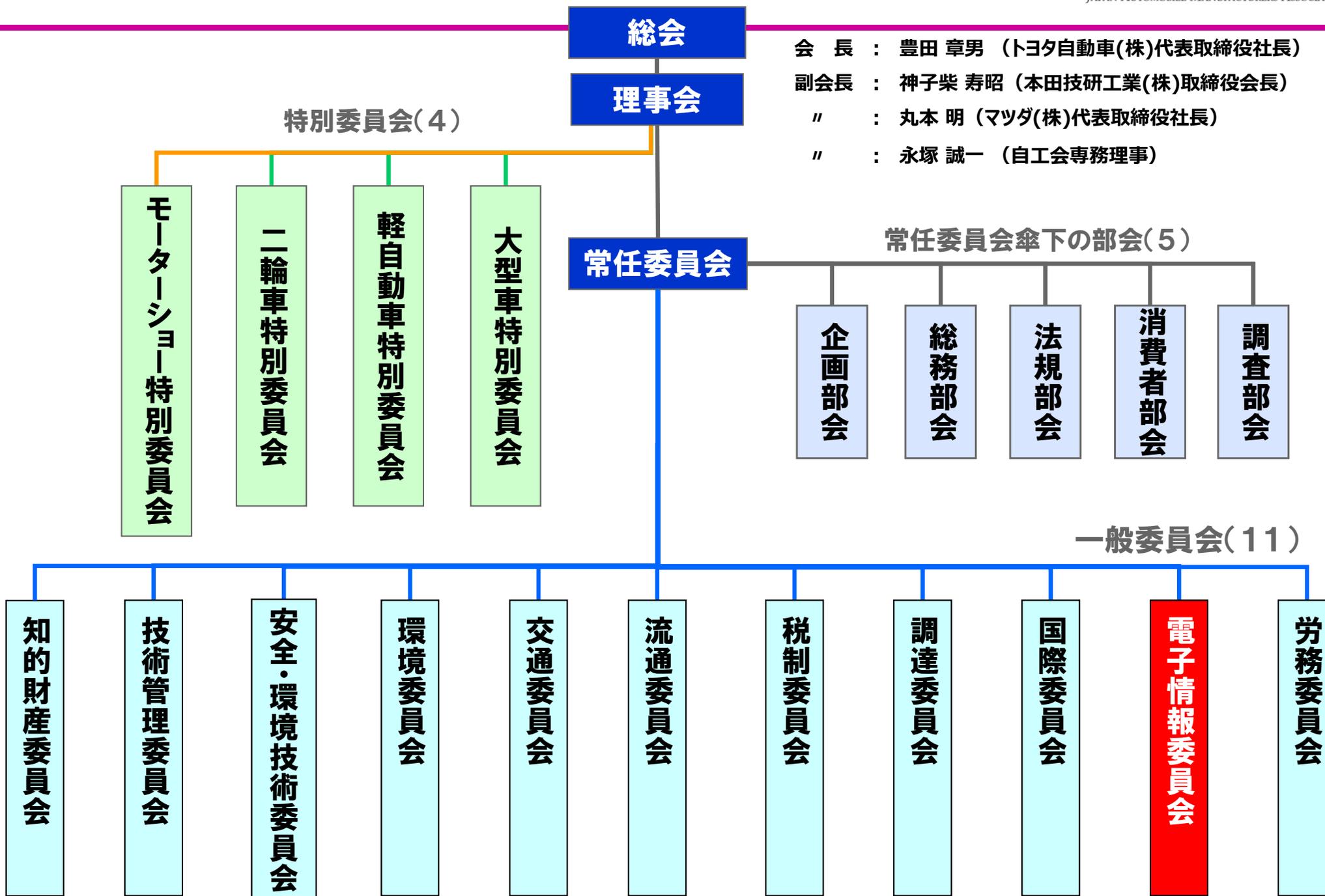
三菱ふそうトラック・バス株式会社

ヤマハ発動機株式会社

UDトラック株式会社

（社名50音順）

# 自工会委員会の体制



会長：豊田 章男 (トヨタ自動車(株)代表取締役社長)  
副会長：神子柴 寿昭 (本田技研工業(株)取締役会長)  
"：丸本 明 (マツダ(株)代表取締役社長)  
"：永塚 誠一 (自工会専務理事)

## ■ 歴史

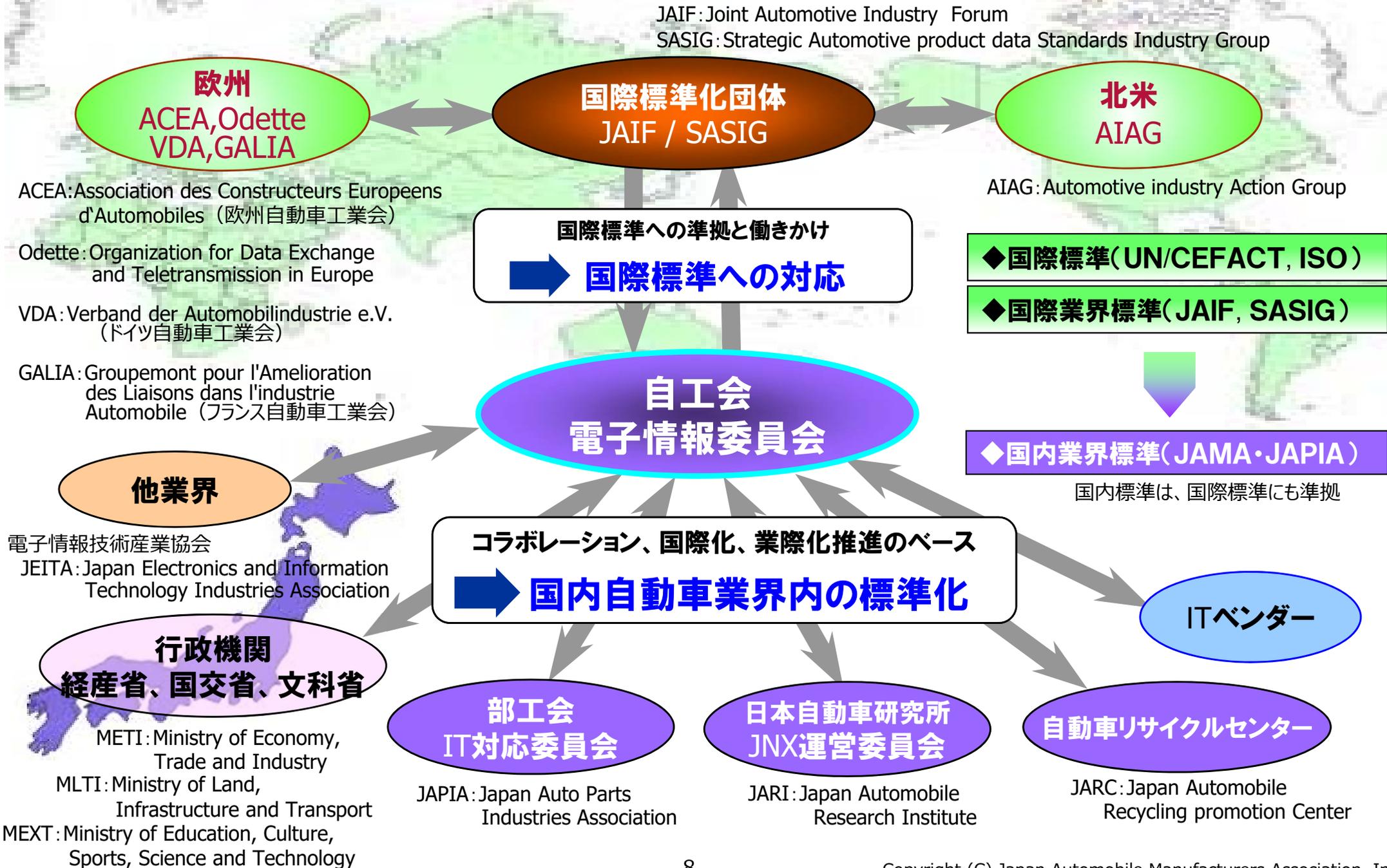
自工会としての情報化・標準化の取組みは1980年代から始まり、1990年代に国内・海外ともにIT活用が活発化するなか、技術データ（CAD）や電子商取引（EDI）をはじめとする電子情報全般に関する業界共通の課題解決の場として発足した。（1998年5月）

## ■ 電子情報委員会のミッション

『安全・安心で新たな価値を創造するモビリティ社会』を自動車産業が中心となり、クルマとデータの融合を通して実現する



# 電子情報委員会の体制 (国内／国際協調)



## 2. 自動車業界を取り巻く環境認識

## ■ マクロ経済

- 中東や東アジアに於ける安全保障環境の不安定化、保護貿易主義の台頭、米中貿易摩擦、EU Brexit等、事業環境の先行き不透明感
- 消費税増税後の個人消費意欲低迷、オリパラ後の景気動向の懸念

## ■ クルマの販売状況（2019年）

- 世界：8,010万台（前年比 5%減）
- 中国：2,580万台（同 8.2%減）
- 米国：1,700万台（同 1.3%減）
- 欧州：1,580万台（同 1.2%増）
- 日本： 519万台（同 1.5%減） 3年ぶりマイナス

## ■ 社会の変化

- 超高齢化社会、地方の過疎化、労働力不足、働き方改革、ライフスタイルの多様化
- ITの進化（AIの活用、5Gの展開、RPA、量子コンピュータ）
- クルマ社会の変化（『百年に一度の大変革期』）⇒ CASE、MaaS

## 3. 電子情報委員会と電子情報企画部会の活動方針

今年度、自工会では『**未来のモビリティ社会の実現**』に向けた**施策化**を重点管理方針として定めた。これを受けて、電子情報委員会では、委員会の**ミッション&ビジョン**を下記の通り定めた。

**ミッション** 『安全・安心で新たな価値を創造するモビリティ社会』を自動車産業が中心となり、クルマとデータの融合を通して実現する

**ビジョン** 2030年の進化したモビリティ社会に向け、業界内外のステークホルダーと連携し、エコシステムの実現を目指す

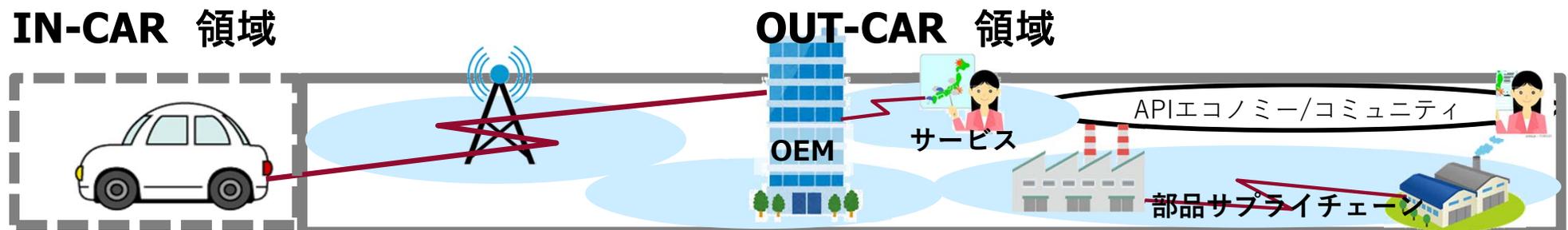
※ エコシステムとは：インフラや法令および業界標準等が整備され、複数の企業や登場人物、モノが有機的に結びつき、循環しながら広く共存共栄していく仕組み

『クルマを取り巻く社会システム』の整備と、『安全・安心で信頼できるサイバー空間』作りが必要と考え、今期、2つの部会を立ち上げた。

(①クルマと社会をつなぐITシステム部会、②サイバーセキュリティ部会)

電子情報委員会の活動範囲は、**OUT-CAR領域**と定めた。

( IN-CAR領域は他委員会で既に対応中 )



## 電子情報委員会

### 電子情報企画部会

**<役割>**  
**委員会全体の活動推進**

**<中期基本方針>**  
業界内外、自工会他委員会、  
国際協調、行政との連携を更に  
強め、モビリティ社会実現に向けた、  
委員会活動の更なる進化を図る

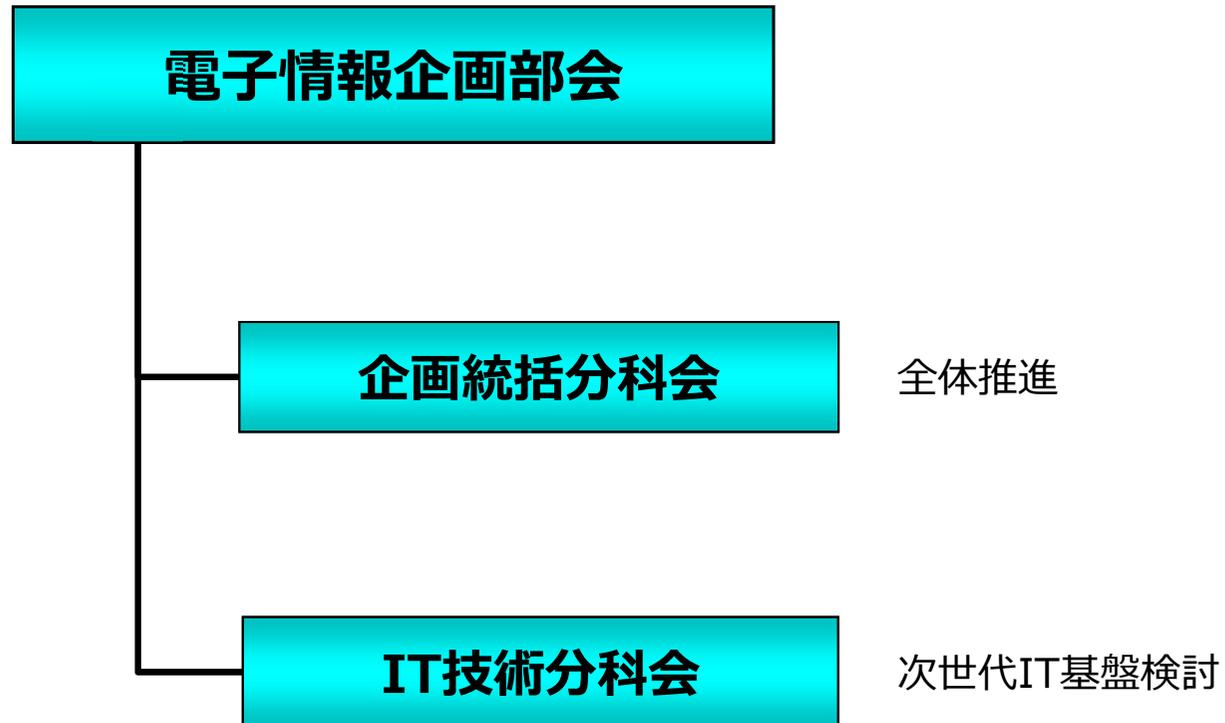
**<主なテーマ>**  
(1)委員会活動の方針検討  
(2)次世代IT基盤検討  
(3)内外団体との連携強化

ビジネス  
システム  
部会

デジタル  
エンジニアリング  
部会

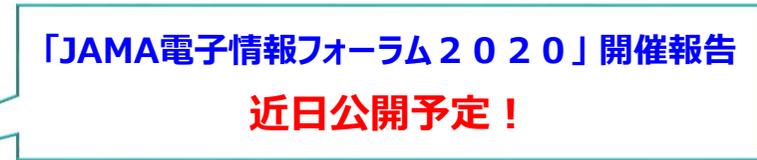
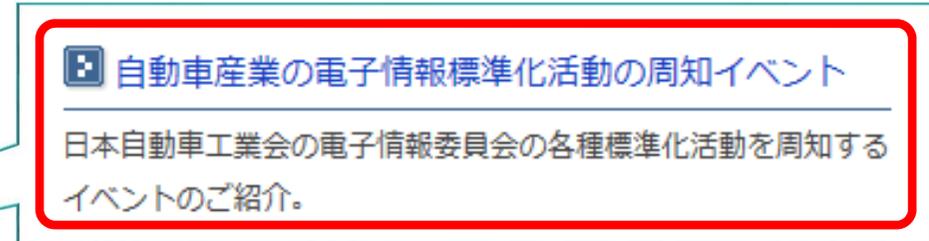
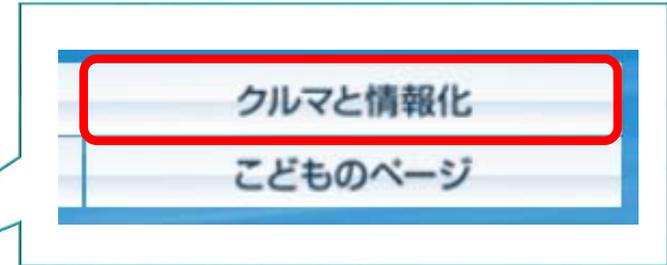
サイバー  
セキュリティ  
部会

クルマと社会を  
つなぐIT  
システム部会



## 4. ご案内

http://www.jama.or.jp/



ご清聴ありがとうございました。

引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を  
宜しくお願い致します。